

市民の「わ」でつくる魅力創造都市



とこなめ
70th

常滑市制施行70周年
記念事業リーフレット



実施期間

2024 (令和6年) .4.1 ▶ 2025 (令和7年) .3.31



ごあいさつ

常滑市は、1954（昭和29）年4月1日に市制を施行し、約43,000人の人口で歩み始めました。昭和から平成、そして令和へと時代が移り変わる中、千年の歴史を持つ「常滑焼」を始めとした歴史的な文化や街並みと中部国際空港「セントレア」などの現代的なインフラが共存するまちとして魅力を高め、現在では、人口58,000人を超えるまちに成長いたしました。

これまで、本市の発展にご尽力を賜りました先人の方々をはじめ、常滑を想い、市政運営にご支援とご協力をいただきました市民の皆様、多くの関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

常滑市制施行70周年のテーマは“市民の『わ』でつくる魅力創造都市（とこなめし）”です。市民の皆様の『わ』（仲を深める『和』、対『話』、協力し合う『輪』）で、本市の目指すまちの姿である「とことん住みたい 世界とつながる 魅力創造都市」をつくっていきましょうという想いを込めています。

この『わ』を広げていくため、周年記念事業では、各地域の結束により市の伝統文化である山車が一堂に集結する『第四回 とこなめ山車まつり』や、国内外のアーティストを招いてワークショップ等により市民との交流を行う『TOUCH! TOKONAME』、市内外の事業者の皆様が協力して、子どもの夢を実現する『夢を叶えるお笑いステージ』の他、市が主催となる「市主催事業」や市民団体、地域事業者の皆様とともに周年を盛り上げる「協賛事業」など、様々な記念事業を実施してまいります。

周年記念事業を通じて、少しでもたくさんの笑顔が生まれるとともに、地域や人の絆をより深め、今後の魅力あるまちづくりのスタートとしたいと思っておりますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「とことん住みたい 世界とつながる 魅力創造都市」の実現にむけて、これからも全力で市政運営に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



常滑市長
伊藤 辰矢

とこなめ 70th 注目事業のご紹介

第四回 とこなめ山車まつり

主催／とこなめ山車まつり実行委員会

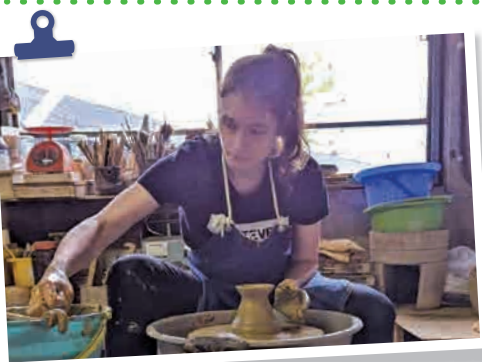
日程 2024.11.2(土)15時～・3(日・祝)9時～

常滑には「知多型」「名古屋型」と呼ばれる山車だけでなく、飾り馬や囃子、矢田万歳などさまざまな特徴を持つ伝統文化が共存しており、他にはない特色があります。

山車の曳き廻しや伝統行事、常滑の伝統文化が繰り広げる「絢爛豪華な物語」を見て、そして各組それぞれの特色ある囃子や掛け声を聞いて、その心意気をぜひ感じてください！



山車まつり公式



TOUCH! TOKONAME

主催／CROSS ART TOKONAME

日程 2024.9.10

アーティストとの交流を通じて多様な価値観や表現方法に触れ、「ひと」「もの」「まち」の新しい可能性を広げる事業です。

656件の応募者から選ばれた3組のアーティストが2024年9月から約1か月間、常滑市内を拠点に、市内の工房で創作活動等を行う他、市民との交流プログラムとして、ホームステイ、地域のつくり手によるワークショップ、アーティストのスタジオ公開、子どもによるまち案内、成果発表会などを行います。

夢を叶えるお笑いステージ

(子どもの夢かなえる事業)

主催／中京テレビ放送株式会社

日程 2024.8.31(土)・9.1(日)

市内の子どもたちの夢である「有名人に会いたい」を、市内外の事業者が連携して実現します！中部国際空港を舞台に、人気お笑い芸人と子どもたち約50名がお笑いコントを繰り広げます！

さらに…！当日は空港が24時間テレビの舞台に！！番組恒例の「24時間ドミノ」がパワーアップして復活します！



市制施行70周年を

常滑市は1954(昭和29)年に市制を施行し、2024(令和6)年4月1日で市制70周年を迎えます。
市民や市民団体、事業者の皆さんとともに令和6年4月から令和7年3月にかけて、
様々な記念事業を実施し、みんなでまちを盛り上げます！

実施期間 2024(令和6年) .4.1 ▶ 2025(令和7年) .3.31

凡例 赤…市民団体等が主体となって取り組む「特別記念事業」
青…市等が主催となって取り組む「市主催事業」
緑…市民や地域事業者とともに周年を盛り上げる「協賛事業」
周年事業の実施にあたっては「ふるさと納税」を活用しています。

2024
4月 April 卯月

●市制70周年記念 常滑市長杯 (ボートレース)【1日(月)~4日(木)】

●LIXIL水まわり・タイル100周年特別企画
「なんとかせにゃあクロニクルー伊奈製陶100年の挑戦ー」展
【2024年4月13日(土)~2025年3月25日(火)まで】

→INAXライブミュージアムにて伊奈製陶100年の歴史を通じて、社会に貢献する志をもって生み出された技術や製品の展示会を開催

●第16回 常滑健康づくりフェスティバル【13日(土)】

→ダンスなどの各健康教室による発表会を開催



INAXライブミュージアム企画展

5月 May 辰月

●市制70周年記念ロゴシールつきの海苔やお酒の販売開始
【2025年3月まで】

●市制70周年記念 常滑りんくうビーチ サンセット花火2024
【11日(土)】

→りんくうビーチの夜空に咲乱れる色鮮やかな花火を満喫



ロゴシールつき特産品販売開始

6月 June 未月

●市制70周年記念式典【1日(土)】

→ボートレースとこなめ(トコタンホール)にて記念式典を開催

●市制70周年記念 市民ヨット体験乗船会【2日(日)】

→ヨットに乗り、海から常滑の街やセントレア、飛行機を間近に見学



常滑りんくうビーチ サンセット花火2024



市民ヨット体験乗船会

7月 July 未月

●ディズニー・オン・アイス“Find Your Gift”
常滑公演【26日(金)~28日(日)】

→愛知県国際展示場にてディズニーキャラクターが登場する氷の上のミュージカルショーを開催



ディズニー・オン・アイス



とこなめ音楽祭2024

8月 August 未月

●とこなめ音楽祭2024【25日(日)】

→常滑市民文化会館にて市内4中学校、常滑市中学生吹奏楽クラブ、常滑高校、常滑市ジュニア吹奏楽団、常滑シンフォニック・ウインズ、常滑市民吹奏楽団が出演する音楽祭を開催

●夢を叶えるお笑いステージ(子どもの夢かなえる事業)
【31日(土)・9月1日(日)】

→中部国際空港にて人気お笑い芸人と子どもたちの交流イベントを開催。地域にゆかりのある事業者や大学と連携し、地域一体となって子どもの夢を実現



夢を叶えるお笑いステージ(写真はイメージ)

記念する様々な事業

9月 September 長月

●TOUCH! TOKONAME 【10月まで】

→常滑市内のカフェ・ギャラリーやゲストハウス等にて国内外のアーティストとの交流事業（展覧会、ワークショップなど）を実施

●京都橘高校マーチング 【29日(日)】

→海外でも活躍する京都橘高校の吹奏楽部によるパレードや演奏会を開催



京都橘高校マーチング



TOUCH! TOKONAME

10月 October 神無月

●クルーズツアー 【5日(土)】

→飛行機を真下から見ることができ、親子が楽しめるクルーズツアーを開催

●第58回 常滑焼まつり 【5日(土)・6日(日)】

●NHK全国放送公開番組「民謡魂 ふるさとの唄」(共催) 【13日(日)】

→常滑市民文化会館にて「民謡魂 ふるさとの唄」の公開収録を実施

●大相撲常滑場所 (共催) 【14日(月・祝)】

→市体育館にて力士の雄姿を間近で見られる「秋巡業 常滑場所」を開催

●招き猫まつり 【18日(金)・19日(土)】

→イオンモール常滑にて、招き猫にちなんだ各種イベントを開催

●学校給食レストラン 【10月19日(土)・11月16日(土)】

→新給食センターにて、人気の献立を提供



クルーズツアー



大相撲常滑場所

11月 November 霜月

●第四回 とこなめ山車まつり 【2日(土)・3日(日・祝)】

→ポートルースととこなめ駐車場にて山車(21輛)が集結し、からくり・三番叟・囃子を披露。土日2日間で宵祭りとお祭りを開催

●第46回 常滑市農業まつり (共催) 【11月下旬~12月上旬】



招き猫まつり



学校給食レストラン

12月 December 節分

●第23回 定期演奏会 常滑市ジュニア吹奏楽団 【15日(日)】

→常滑市民文化会館にて常滑市ジュニア吹奏楽団の演奏会を開催

2025

1月 January 睦月

●じどうかんフェス 【11日(土)】

→市体育館を会場に市内の児童館の工作や遊びのコーナーが集合



とこなめ山車まつり

2月 February 如月

●中部国際空港20周年記念事業 【2月下旬】(イベント企画中)

→2025年2月に開港20周年を迎えるセントレアとの記念事業を開催

3月 March 弥生

●第36回 歩こまいとこなめふれあいウォーク2025 【2日(日)】

→市体育館をスタートし市内の各コースを歩く大会を開催



定期演奏会 常滑市ジュニア吹奏楽団

常滑市の生い立ち

本市は昭和29年4月1日、常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町および三和村の4町1村が合併して誕生しました。

その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷、小鈴谷、広目および坂井の4地区が昭和32年3月31日に市域に加わり、現在の常滑市となりました。

以前の歴史を探ると、昔、漁労の民が海岸沿いに、あるいは海を渡って当地に住みついたと想像されています。

平安時代後期の和名抄には知多わかた贅代郷えいだいごうの地と記されており、永正4年（1507年）の宗長宇津山記には「伊勢の国多気たけより大湊おほみなとに出で、尾張の国知多郡常滑という津に渡る」とあります。戦国時代を経て江戸時代には尾張藩の治下であり、維新後は名古屋藩、額田県そして愛知県に属しました。

本市の地名「常滑」については、万葉集にも用例があり、「常」は床の義をとり、「滑」は滑らかなの義にとるのが妥当であるとされています。古くから、当地は粘土層の露出が多く、その性質は滑らかになっており、この粘土層全体を「とこなめ」と呼ぶ習俗を生んだものとされています。



1954 ▶ 2024 常滑市70周年のあゆみ 70th anniversary history

- 1954** 昭和29年 **できごと**
常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町、三和村が合併し常滑市制を施行。常滑市が誕生
- 1955** 昭和30年 常滑市章制定
- 1957** 昭和32年 小鈴谷町(大谷、小鈴谷、広目、坂井地区)が常滑市に合併し、現在に市域になる
- 1958** 昭和33年 鯉江新開公有水面埋立 工事竣工
- 1959** 昭和34年 市営火葬場業務開始
市民病院 開院
- 1961** 昭和36年 中部知多衛生組合(し尿処理) 発足
- 1962** 昭和37年 常滑武豊衛生組合(ごみ処理) 発足
- 1964** 昭和39年 市制10周年記念式典
- 1965** 昭和40年 名鉄常滑線に特急電車が運行
- 1966** 昭和41年 常滑市商工会 発足
- 1967** 昭和42年 **第1回常滑焼大見本市(現 常滑焼まつり)開催**
- 1969** 昭和44年 市庁舎(現 新開町4-1) 竣工
- 1970** 昭和45年 大阪万国博に常滑焼が参加
- 1972** 昭和47年 陶業・陶芸の進进行を図る「長三賞」を設定
- 1973** 昭和48年 常滑警察署・常滑商工会議所が開所
- 1974** 昭和49年 市制20周年記念式典
やきもの散歩道を設定
市の木「クロマツ」を発表
- 1975** 昭和50年 県立常滑北高校が開校
- 1978** 昭和53年 「市総合計画」を決定
- 1981** 昭和56年 市の花に「サザンカ」を選定
- 1982** 昭和57年 登窯(陶柴窯)が国重要有形民俗文化財に指定
- 1983** 昭和58年 常滑競艇場新スタンド竣工
- 1984** 昭和59年 市制30周年記念式典
常滑市文化協会設立
- 1986** 昭和61年 「第2次常滑市総合計画」を決定
- 1987** 昭和62年 谷川徹三氏、岩田武夫氏、平岩外四氏、盛田昭夫氏を名誉市民に決定
- 1989** 平成元年 世界デザイン博覧会に陶製巨大モニュメント「フューチャードリーム」を出版
- 1990** 平成2年 大谷工業団地完成
- 1991** 平成3年 常滑市一般廃棄物最終処分場竣工
- 1993** 平成5年 とこなめ焼卸団地「セラモール」がオープン
ごみの分別収集を開始
- 1994** 平成6年 市制40周年記念式典
'94日本六古窯サミット・フォーラムを開催
第49回国民体育大会レスリング競技を開催
- 1995** 平成7年 ふるさと常滑の歌「この街が好きだから」を発表



- 1996** 平成8年 第3次常滑市総合計画「とこなめ21世紀計画」を議決
- 1997** 平成9年 常滑国際交流協会を設立
- 2000** 平成12年 **空港島・空港対岸部の開発着工**
廻船問屋瀧田家オープン
指定ごみ袋制を実施
とこなめ焼協同組合100周年記念式典
- 2001** 平成13年 「トコタン」誕生
- 2002** 平成14年 空港島と空港対岸部の新町名を公表
空港島「セントレア」、空港対岸部「りんくう町」
- 2004** 平成16年 市制50周年記念式典
- 2005** 平成17年 名鉄空港線開業、セントレアラインが全線開通
中部国際空港セントレア開港
「第4次常滑市総合計画」を議決
やきもの散歩道が「美しい日本の歴史的風土準100選」に認定
- 2007** 平成19年 りんくう海浜緑地の愛称が「りんくうビーチ」に決定
- 2009** 平成21年 アイアンマン70.3セントレア
常滑ジャパン開催(第1回)
- 2010** 平成22年 資源回収ステーション開設
- 2011** 平成23年 消防本部庁舎 移転・運用開始
- 2012** 平成24年 家庭ごみの有料化開始
常滑港りんくう地区に「NTPマリーナりんくう」、「りんくう海の駅」竣工
- 2013** 平成25年 トコタンが市キャラクターに就任
- 2014** 平成26年 市制60周年記念事業を実施
- 2015** 平成27年 **市民病院 移転・開院**
「第5次常滑市総合計画」基本構想を議決
常滑焼などの「日本六古窯」が日本遺産に認定
- 2017** 平成29年 中部国際空港に「FLIGHT OF DREAMS」開業
- 2018** 平成30年
- 2019** 令和元年 **愛知県国際展示場 開業**
中部国際空港第2ターミナル オープン
宜興市(中国江蘇省)と「友好都市提携」を締結
- 2021** 令和3年 とこなめ陶の森資料館リニューアルオープン
ポートレースととこなめ新スタンドオープン
Moovvi、Gruunオープン
- 2022** 令和4年 **市庁舎 移転・開庁**
「第6次常滑市総合計画」基本構想を議決
ゆめくりん(知多南部広域環境センター) 開設
市民病院婦人科ウィメンズセンター診療開始
コミュニティバス グルーン運行開始
- 2023** 令和5年 平和都市宣言
- 2024** 令和6年 **市制70周年**



70周年記念事業
最新情報はコチラ



●常滑市制70周年記念ロゴマーク●



●作者●

常滑高校 クリエイティブデザイン科 近藤 麻奈未 さん

●作品に込めた想い●

幅広い年齢層の人々にも親しまれやすいよう「とこなめ」の文字をひらがなにしました。

招き猫がモチーフの常滑市キャラクター「トコタン」をイメージし、70の文字をデザインしました。

市外のたくさんの人に常滑市を知ってほしいという想いを込めました。

協賛事業を募集しています！

市制70周年の節目を市民の皆さんとお祝いするとともに、まちづくりの主役である市民や市民団体などの主体的な参加により、地域の絆を深め、将来のまちづくりや地域の発展につながることを目的として、「**市制70周年記念協賛事業**」を募集しています！

対象事業 常滑市制70周年記念事業の基本方針およびキャッチコピー「市民の「わ」でつくる魅力創造都市」に沿った事業

実施期間 2024年(令和6年)4月1日(月)～2025年(令和7年)3月31日(日)のうち任意の期間

支援内容

- ・「市制70周年記念」の冠の使用
- ・「市制70周年記念ロゴマーク」の使用
- ・「常滑市」後援名義の使用
- ・市の広報誌やホームページなどによる宣伝協力 など

申請方法 事業の開催月から3カ月前の月末まで(原則)に企画書などを添付のうえ申請書を提出
例) 令和6年11月開催の場合、同年8月末までに申請

申請期限 **2024年(令和6年)12月31日(火)** まで



常滑の観光情報

発行 常滑市役所 企画課

発行日 2024年(令和6年)4月

〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5

TEL.0569-35-5111 FAX.0569-35-4329

ホームページ <https://www.city.tokoname.aichi.jp/>



常滑市役所HP